醸し

平成13年→平成17年（2001～2005）

3月　高区地区簡易水道完成
3月　老人保健施設「つつじ苑」完成
3月　志津川消防署歌津出張所移転新庁舎完成
4月　介護保険制度開始
5月　町長に牧野駿氏当選
6月　イタリア共和国ベザーノ町長と国際電話対談実施
7月　平成の森を会場に第41回宮城県消防操法大会開催
10月　歌津町ポイ捨て禁止及び環境美化を推進する条例施行
10月　国勢調査　人口5，642人　世帯数1，392世帯

平成13年
2月　伊里前小学校校舎新築落成
3月　イタリア共和国ベザーノ町公式訪問（15名）
5月　「うたつ山海市」開所
9月　第56回みやぎ国体グラウンド・ゴルフ競技（デモスポ行事）開催
10月　みやぎ国体大会旗・炬火リレー開催
10月　みやぎ国体成年女子9人制バレーボール競技開催（志津川町・津山町と合同開催）
12月　本吉町との行政界確定協定締結調印

平成14年
3月　伊里前地区公共下水道事業「歌津浄化センター」完成し一部地域で供用開始
3月　私立たつがね保育園閉園
3月　歌津町出稼者連絡協議会解散
3月　役場改築工事完成
6月　イタリア共和国ローマ県評議員来町
9月　ワモンアザラシ「ウタちゃん」が伊里前川に来遊、全国からマスコミ、見物客が多数来町
10月　「ウタちゃん」来遊記念「アザラシシンポジウム」開催

平成15年
1月　馬場・中山・名足漁港が合併し「ばなな漁港」に名称変更
3月　「市町村合併に関する本吉郡南部自治体研究会」へ参画
4月　連携型中高一貫教育開始
6月　「志津川町・歌津町合併協議会設立準備会」設置
8月　「志津川町・歌津町合併協議会」設置
12月　「広報うたつ」300号発刊

平成16年
1月　志津川町との合併後の新町の名称が「南三陸町」に決定
5月　町長に牧野駿氏当選
11月　アワビ稚貝の標識放流開始

平成17年
1月　志津川町と合併協定調印
2月　合併に関する「廃置分合」関連4議案が歌津町・志津川町議会において全会一致で可決され宮城県知事へ合併申請
2月　戸籍事務の電算化運用開始
3月　歌津中学校校舎大規模改修（耐震化）事業完成
3月　宮城県知事より廃置分合決定書交付
3月　JR歌津駅乗車券発売所完成
4月　歌津町商工会が志津川町商工会と合併し「南三陸商工会」誕生
4月　町の廃置分合について総務大臣より官報にて告示（総務省告示第442号）
9月　歌津町閉町記念式典開催

みやぎ国体成年女子9人制バレーボール競技開催（平成13年）

みやぎ国体旗・炬火リレー開催（平成13年）

平成の森を会場に第41回宮城県消防操法大会開催（平成12年）

伊里前小学校旧校舎

伊里前小学校校舎落成（平成13年）

本吉町との行政界確定協定締結調印（平成13年）

イタリア共和国ベザーノ町公式訪問（平成13年）

（田の浦）
佐藤　美香さん

あの日あの時

青森の短大を卒業し、社会人としての第一歩を私は、昭和62年4月、歌津町立伊里前保育所の臨時保母として踏み出しました。

その当時、伊里前保育所は、歌津町伊里前100番地にあり、見上げれば小学校、中学校と続く学校坂の真下に建っておりました。

私がお世話になった2年の中で、最も印象深かった出来事は、昭和天皇の御崩御です。

弔旗半旗を挙げ歌舞音曲を慎みながらの保育は、とても珍しく不謹慎ながら興味深い出来事であったと記憶しています。

喪が明けて「平成」と年号が公布されると何故かそれまでの葬送の雰囲気が払拭され、新たな時代の到来を予感させたものでした。

伊里前保育所が現在地に移転して早10年。時代のニーズに応え、未満児保育の充実や延長保育の実施等、益々地域に根ざした保育所として進化を続けています。子ども達の大いなる未来と町民が安心して暮らせる町づくりに期待し新町の「出航」を祝福致します。

志津川町と合併協定調印（平成17年）

ワモンアザラシ「ウタちゃん」が伊里前川に来遊、全国からマスコミ、見物客が多数来町（平成14年）

JR歌津駅乗車券発売所完成（平成17年）

アワビ稚貝の標識放流開始（平成16年）

歌津浄化センター完成（平成14年）

仙台市在住
（中在出身）
大津　充さん

平成の大合併により

いよいよ平成の大合併により、「南三陸町」が誕生することになり、「歌津町」という町の名がなくなります。歌津町の象徴の一つとでもいうべき田束山を正面（？）に見上げる田表（中在）で育った私としては、「うたつ」という町がなくなることに一抹の寂しさを感じますが、住所表示に「歌津」が残ると聞いていますし、ましてやあの海や山が突然消えてしまうわけでもなく、まずは「南三陸町」という船が、希望に彩られ悠然と出航されることを心からお祝いしたいと思います。

私事ですが、仙台に住むようになって早くも11年目となりました。多くの歌津町出身者が自分の中にふるさと歌津のイメージというものを持っていると思います。私の場合は食べ物もそのひとつでしょうか？

ふるさと自慢ではありませんが、宮城県は全国でも美味しいものが数多く揃った県であり、さらにその中でも歌津・志津川ほど多様で豊かな食材に恵まれた地域もないのでは…などと、常々思うことがあります。これと四季折々に魅せる自然の風景はまさに歌津の大切な財産でしょう。どうぞ、「南三陸」という名称にふさわしい、これまで以上に情緒と自然が豊かで人間味溢れる町であればと願います。